

レジリエンス研究教育推進コンソーシアム第31回幹事会議事要旨

- 1 日 時：令和7年4月14日（月）14時00分～15時00分
- 2 場 所：オンライン（Zoom）
- 3 出席者：寶（会長）、甘利（副会長）、遠藤（副会長）、岡島、面
オブザーバー：林（東京海上日動）
陪席者：松本（防災科学技術研究所）、倉谷（〃）、田代（〃）、小松原（セコム）、
大貫（筑波大学）、栗原（〃）、酒井（〃）、根本（〃）

（敬称略）

4 議事

岡島委員から、議事に先立ち、遠藤副会長不在時については岡島委員が副会長代理を務める旨の説明があった。また、新学位プログラムリーダーの面教授の紹介があり、面教授より挨拶があった。

I. レジリエンス研究教育推進コンソーシアムに係る事案

【審議事項】

(1) 総会・運営委員会・幹事会の体制について

岡島委員から資料1-1～2に基づき、以下の説明があり、承認された。

➤ 総会・運営委員会

- ・産業技術総合研究所：玄地委員から蒲生委員へ交代（規約第8条第4項(1)・第9条第4項(1)）
- ・筑波大学：面教授が委員就任（規約第8条第4項(1)・第9条第4項(1)）

➤ 幹事会

- ・面教授が委員就任（規約第10条第4項(4)：学位プログラムリーダー）
- ・岡島教授が委員就任（規約第10条第4項(5)：会長の指名する者）

(2) 令和7年度年間活動計画（案）について

岡島委員から資料2に基づき説明があり、承認された。

(3) 入会希望機関について

- 福島国際教育研究機構（F-REI）（資料3） <https://www.f-rei.go.jp/>
- 株式会社モリタホールディングス <https://www.morita119.com/>

岡島委員から入会希望機関の概要説明があり、入会に向けた手続きを進めることが承認された。
また、遠藤副会長から、F-REIとの連携の経緯について補足説明があった。

(4) その他

特になし。

【報告事項】

(1) 第2回キャリアマッチングデー（R7.6.5）について

岡島委員から資料4に基づき、以下の報告があった。

- ・現時点で7機関参加予定
- ・募集締め切り間近のため、参加検討中の機関は事務局まで早急に回答願いたい

(2) 日本ネットワークセキュリティ協会（JNSA）への入会について

岡島委員から資料5に基づき、4月1日付けでJNSA 特別会員として入会した旨の報告があった。

続いて、紹介者である甘利副会長から、以下の補足説明があった。

- ・JNSA は情報セキュリティ業界で政策提言等を行う業界団体
- ・R2EC が産業界との繋がりを深める一助として欲しい
- ・JNSA の主催する活動報告会等で R2EC の活動紹介をすることも提案可能

(3) その他

特になし。

【意見交換事項】

(1) 令和7年度シンポジウムについて

資料6に基づきシンポジウムのテーマについて意見交換が行われ、以下の案を含めて継続検討することになった。

- ・参画機関にとっての博士人材育成参画へのメリット

II. 筑波大学リスク・レジリエンス工学学位プログラムに係る事案

【審議事項】

(1) その他

特になし。

【報告事項】

(1) 社会人学生対象「教育訓練給付制度（一般教育訓練）」の認定について

面委員から、資料7に基づき以下の報告があった。

- ・学位プログラム博士後期課程として厚生労働省「教育訓練給付制度（一般教育訓練）」に認定
- ・有職社会人学生（社会人特別選抜受験者）対象、金額10万円、認定期間3年間（R7年4月～R10年3月、延長可）

また、岡島委員から、本制度について、有職社会人が学費補助を受けられる数少ない制度である旨の補足説明があった。

(2) 令和6年度修了者進路報告

面委員から、資料8に基づき以下の報告があった。

- ・博士前期課程修了者：売り手市場により 9 割以上が就職
- ・博士後期課程修了者：社会人学生が占める割合が大きく、多くが職場復帰

(3) 令和 6 年度コンソーシアム参画機関の修了者数について

面委員から、資料 9 に基づき以下の報告があった。

- ・博士後期課程修了者：1 名（防災科研所属、白田教授指導）
- ・令和 2 年度の協働大学院方式開始以来、延べ 5 名の参画機関所属者が博士号取得

(4) 令和 7 年度協働大学院教員の指導する学生数について

面委員から、資料 10 に基づき協働大学院教員が主指導を行う学生数について以下の報告があった。

- ・博士前期課程：2 名
- ・博士後期課程：12 名

(5) 令和 7 年度参画機関インターンシップについて

面委員から、資料 11 に基づき以下の報告があった。

- ・特別インターンシップ 7 機関、通常インターンシップ 5 機関が受入れ予定
- ・学生への積極的参加を呼び掛ける

(6) その他

- ・学位プログラムオープンキャンパス（4 月 20 日開催）について

面委員から、資料 12 に基づき以下の報告があった。

- ・ハイブリッド形式で開催
- ・防災科学技術研究所の協働大学院（白田・酒井・藤原）研究室もブース対応予定

以上